

周防監督が母校、立教大学の相撲部名譽監督に

映画「Shame ダンス」などで知られる 在、選手二人に女子マネージャー四人と周防正行監督(六)が母校の立教大学で いう苦しい状況。周防監督は平成四年、相撲部名譽監督に就任する。池袋キャン 映画「シコぶんじやった。」で、選手不足にパスで三月十三日、会見があった。 立ち向かう相撲部の奮闘をコミカル、か

四月で創部一〇〇周年の相撲部は現 ツリアルに描いてみせており、現実の相撲



周防監督を囲む相撲部の全部員。相撲部公式サイト(<http://www.rikkyo.ne.jp/sgrp/sumo/interview.html>)で周防正行監督のインタビューなどを紹介している

部でも新入部員の獲得や学内での認知度向上に向けた協力を大学側が打診したところ、快諾を得られたという。

周防監督は会見で「多くの学生が相撲を経験できるよう環境作りに関わりたい」と話した。今後の計画としては新入生向けビデオメッセージの作成や一般学生による相撲大会「周防正行杯」の開催などを



学生らが作ったビデオメッセージを見る監督たち



立教大学の吉岡総長と周防監督

予定しているという。

同校相撲部はもう一つの大きな試みとして、男女各一人が主将を務める共同主将制を始めた。初代の女子主将はマネージャーとして相撲部を切り盛りしてきた奥村百花さん。「(周防監督と男子主将の)二人のお力添えをいただき、新入部員獲得に尽力したい」と決意を語った。



横田奏樹共同主将と奥村百花共同主将が決意を語る